

電源開発株式会社様の「松島火力発電所の今後について」の発表について

本日、電源開発株式会社様より、「GENESIS松島計画」を引き続き推進するため、2024年度末をもって本市に立地する松島火力発電所の1号機と2号機を休廃止し、これに伴い1号機は廃止、2号機については休止するものの、「GENESIS松島計画」により2028年度運転開始を目指すとの発表がありました。

電源開発株式会社松島火力発電所は昭和56年1月に運転開始して以来、海外炭を使用する日本初の火力発電所として、日本のエネルギー政策の一翼を担うとともに、本市における地元雇用や地域経済の発展・活性化に大きな役割を担っていただいております。

令和3年4月16日に「GENESIS松島計画」が発表されて以降、この松島の地で、新たな国のエネルギー政策が展開されることは、今後の市の発展に大きく寄与するものと期待するものであり、市として全力をあげて協力してまいりました。

しかしながら、カーボンニュートラルの世界的な動きの中で、国内における脱炭素の目標に向けた資本市場の厳しい要請など、この度の松島火力発電所の既存2基の休廃止は、いずれ避けられないことであると理解しているところであります。

また、電源開発株式会社が進めているCCS、CCUSの技術は水素発電、延いては水素供給にも繋がるものであり、脱炭素に向け大いに期待できるものと認識しています。

市といたしましては、関連企業を含む、現在雇用されている従業員の確実な雇用の確保、「GENESIS松島計画」の正確な情報発信、そして松島火力発電所休廃止に伴い大きな影響が危惧される地元の宿泊、飲食、小売事業者等への経済支援策等、市民の生活と雇用を守るため長崎県と連携して取り組むとともに、「GENESIS松島計画」の着実な実施に向けて協力してまいります。

令和5年10月31日

西海市長 杉 澤 泰 彦